

健康宣言実施結果報告書（2021年度）

事業所名

中部電力健康保険組合

健康づくり
担当者名

菊田 幸恵

報告日

2022年2月17日

項目		実施項目 にチェック	取組内容・実施結果(数値報告)	効果大 (○印)	取組の達成度 自己評価 (※5が最高)	
必須項目	①	経営者自身が健康宣言事業に取り組む	✓	健康宣言チャレンジ事業所に認定 HPへ取組内容を掲載 インター ンシップ実施時に健康経営を説明		5
	②	組織体制の整備	✓	健康づくり担当者の設置		5
	③	受動喫煙対策の実施	✓	屋内全面禁煙 勤務時間中の喫煙禁止 禁煙サポートプログラムへ の参加勧奨		5
	④	(求めに応じて) 40歳以上の従業員の健診データの提供	✓	全員のデータ提供を実施	○	5
	⑤	健康課題に基づいた具体的目標の設定	✓	時間外労働時間1人あたり月20時間以内を目指し、チーム単位 (週1回) および事業所全体(月1回) のノー残業デーを設定、フレ ックス制度の有効活用推奨、責任者による時間外管理に基づき、 各チーム主任がチームを超えて連携し、状況把握と改善フォローの実 施を徹底した、わずかに目標を達成できなかった。(1人あたり21時 間) 1日8,000歩のウォーキングを週5日以上および週1回以上の体重測 定を実施し、ウォーキングは9割、体重測定は全員が参加した。		4
選択項目	①	社員の家族の健康にも積極的に取り組みます	✓	受診率100%		5
	②	定期健康診断の受診	✓	人間ドック等健診受診者(全員) に対し自己負担費用補助を実施	○	5
	③	受診勧奨の取り組み	✓	健診結果により再検査や精密検査が必要な場合、個別周知を実施		5
	④	ストレスチェックの実施	✓	毎年10月に実施		5
	⑤	管理職または一般社員に対する教育機会の設定	✓	上長からの健康情報の提供(随時) eラーニングによる教育の実 施・食育セミナーの実施(9月) 健康情報ポータルサイトのイベ ント(健康クイズ)への参加勧奨(8月) 情報誌の回覧(随時)		5
	⑥	適切な働き方の実現	✓	ノー残業デー(チーム・職場全体)の設定 月1日以上の有給休暇 の取得 フレックス勤務制度の活用 サテライトオフィスの設置(無線 LAN化) オンライン会議の環境整備 電子承認システムの導 入 在宅勤務の推奨		4
	⑦	コミュニケーションの促進	✓	毎月1回の昼食懇親会 ボーリング大会への参加(11月) 食育 セミナーの実施(9月) eラーニングによる教育の提供		5
	⑧	病気と治療と仕事の両立	✓	傷病をかかえる職員への配慮や支援を実施(勤務時間・作業内容・ 通勤方法等の対応を実施/在宅勤務の活用/ライフサポート休暇 の取得)		5
	⑨	保健指導の実施	✓	全職員に対し外部委託先保健師による個別保健指導を実施		5
	⑩	食生活の改善	✓	水素水の利用促進 健康弁当(週4回)の利用促進(1週間に1 回以上の利用者約50%) 食育セミナーの実施(9月全員) 健 康情報ポータルサイトからの情報提供(随時)		5
	⑪	運動機会の促進	✓	毎朝ラジオ体操とスクワット、15時のストレッチを実施 健康情報ポ ータルサイトの活用(日々の記録)とイベントへの積極的参加を推奨 (8月健康クイズ、4月・10月ウォーキング、1月体重測定チャレ ンジ) 1日8,000歩を週5日以上と週1回以上の体重測定を目指し達 成状況を出入りに掲示 ジェリーフィッシュチェアを設置		5
	⑫	女性の健康保持・増進	✓	婦人科健診の受診勧奨と健診費用の補助 急な体調不良となつた 場合の休憩場所の確保 女性特有の未病(不定愁訴)に対する 理解醸成(保健指導時にチラシの配付と説明を実施) 在宅勤務 の活用		5
	⑬	社員の感染症予防	✓	コロナワクチン接種時の特別休暇の付与 インフルエンザ予防接種費 用補助 サテライトオフィスの設置(無線LAN化) ライフサポート休暇 の取得 アルコール消毒液、除菌シート、アクリル板、加湿器を設置 フェイスシールド、非接触式温度計、感染者発生時の消毒液や手袋 等の常備 健康情報ポータルサイトからの情報提供(コロナワクチ ン接種記録機能の提供)		5
	⑭	過重労働への対応	✓	フレックス勤務の活用推進 月1日以上の日以上の休暇取得		4
	⑮	メンタル不調者への対応	✓	相談窓口の設置(ハネフィットステーションの紹介) eラーニングによ る教育の実施		5
	⑯	健康経営の評価・改善	✓	時間外労働時間目標(「1人あたり月20時間以内」が21時間(1 月末現在)) 以外はほぼ計画通り実施することができた。時間外労 働時間目標は来年度の継続目標とし対策を強化して達成を目指 す。		4